

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第3区分

【発行日】平成21年11月26日(2009.11.26)

【公表番号】特表2009-511289(P2009-511289A)

【公表日】平成21年3月19日(2009.3.19)

【年通号数】公開・登録公報2009-011

【出願番号】特願2008-536681(P2008-536681)

【国際特許分類】

B 2 4 D 3/00 (2006.01)

B 2 4 D 3/14 (2006.01)

B 2 4 D 11/00 (2006.01)

【F I】

B 2 4 D 3/00 3 3 0 A

B 2 4 D 3/00 3 2 0 A

B 2 4 D 3/00 3 4 0

B 2 4 D 3/14

B 2 4 D 11/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月29日(2009.9.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ほぼ連続的で且つ無孔性の無機結合剤によって三次元構造で互いに結合された複数の砥粒を含む砥粒塊であって、前記砥粒が、約0.5ミクロン～約1500ミクロンの平均サイズを有し、前記無機結合剤が、前記砥粒塊の約75重量パーセント未満をなし、前記砥粒塊の嵩密度が、前記砥粒の嵩密度の約90パーセント未満である砥粒塊。

【請求項2】

前記砥粒が、不連続な単層を前記無機結合剤の上に形成する、請求項1に記載の砥粒塊。

【請求項3】

前記砥粒1グラム当たり約0.05グラム～約0.5グラムのガラス結合剤を含む、請求項1に記載の砥粒塊。

【請求項4】

複数のガラス体を提供するステップであって、各ガラス体がある規定された形状を有し、前記ガラス体がある軟化温度を有するステップと、

複数の砥粒を提供するステップと、

前記複数のガラス体と前記複数の砥粒を混合して混合物を形成するステップと、

前記ガラス体が前記規定された形状をほぼ維持しながらも軟化するように、前記混合物を前記軟化温度まで加熱するステップと、

砥粒を前記軟化したガラス体に付着させて複数の砥粒塊を形成するステップと、

前記ガラス体が硬化するように、前記砥粒塊を冷却するステップと、を含む複数の砥粒塊を製造する方法。